

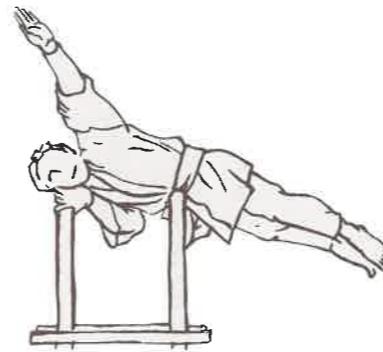
加賀鳶 はしご登り 演技紹介



①-1 火の見(一) 遠見
①-2 火の見(二) 遠見
はしごの頂上から火事の状態、風向き、周囲の状況等を確認します。はしご登りの目的の始まりです。



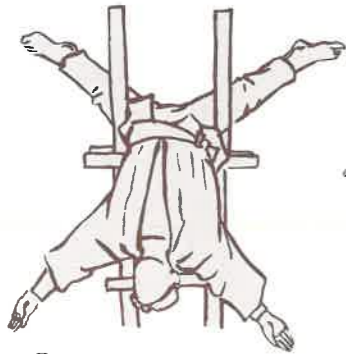
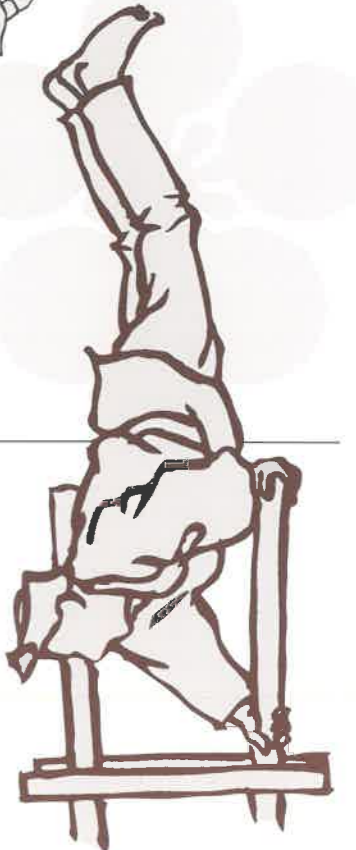
② 邯鄲夢の枕
邯鄲は中国河北省の商業都市。出世を夢見て邯鄲に来た青年が、道端で栄華が思いのままになるという枕を借り、その思いにひたっている姿勢です。



③-1 二本大の字



③-2 一本大の字
高いところでのバランス、平衡感覚を取る技です。2点、1点で身体全体のバランスをとる技です。



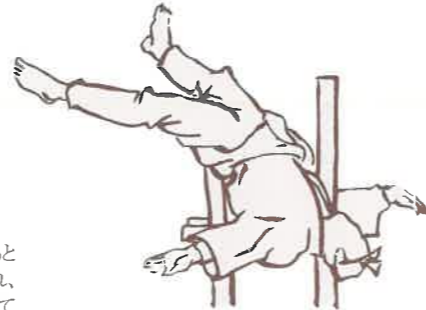
④ 肝返り
大の字からの連続技で、腰と足により落下を防ぎます。高い所から落ちるとき、肝をひやす技です。



⑤ 腕留(首抜き)
肝返りからの連続技で、腕の力で身体を引き上げる力技です。



⑦ さかさ大
右肩を右竹、左竹を股の間に、両手両足を開くバランス技です。



⑧-1 足留(表)
足の甲を竹に絡ませ、上体を反らせます。足を交差し、その力で全身を支えます。足の甲、足首の力、腹筋、背筋力を求められる技です。



⑧-2 足首留



⑨ 八艘飛び
源義経の八艘飛び。遠くへ飛び越える姿勢をとります。

⑩ 灰吹き
灰吹きとはタバコ盆に附属する竹筒。垂直の姿勢が求められる大技です。

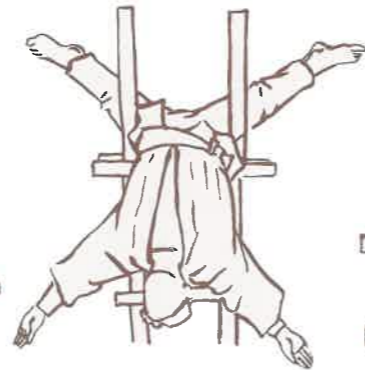


⑪-1 二本背亀

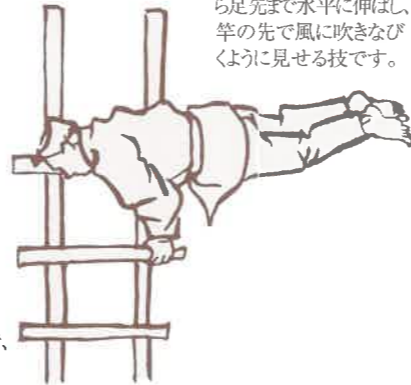


⑪-2 一本背亀

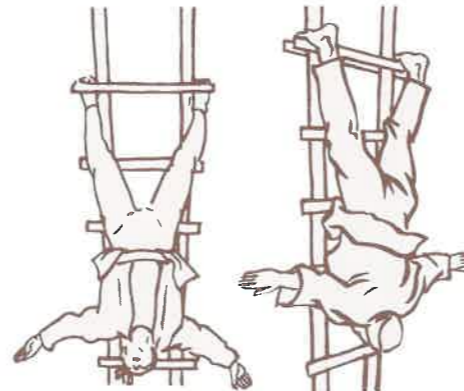
一本の竹の先端一ヶ所で身体全体を支えます。研ぎ澄まされたバランス感覚が必要で、最も難しい演技です。



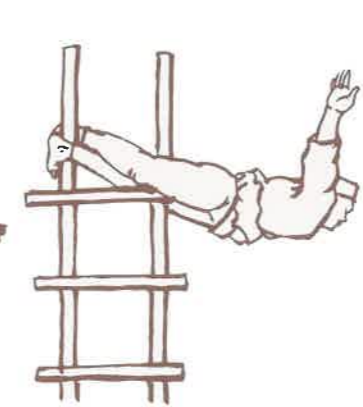
⑫ 肝返り
一本背亀から一気に落ちる連続技で、度胸満点の技です。



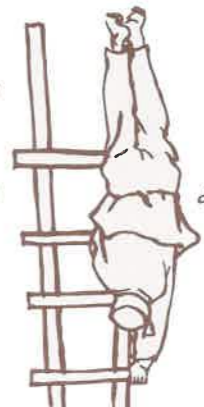
⑬ 吹き流し
旗、指物の一種である吹き流しを模して、背から足先まで水平に伸ばし、竿の先で風に吹きなびくように見せる技です。



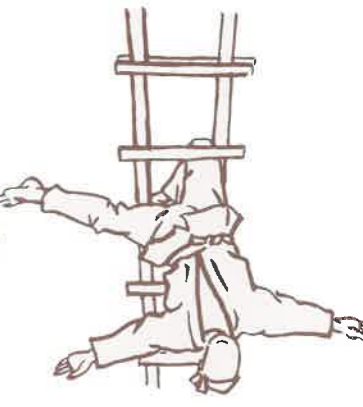
⑭-1 つま留(表) ⑭-2 つま留(裏)
足のつま先だけで全身逆さにぶら下がります。足先に全神経と力を集中します。



⑮ 足留(玉つぶし)

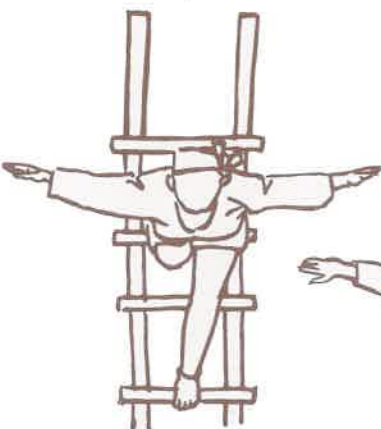


⑯ 腕留

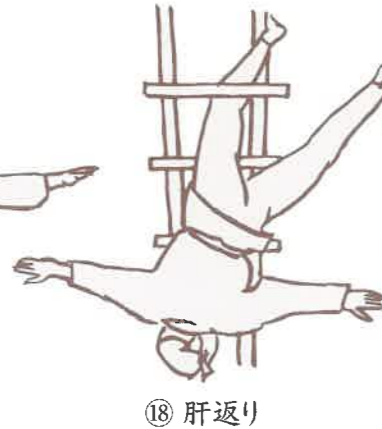


⑰-1 片膝留

⑰-2 片膝留



⑱ 肝返り



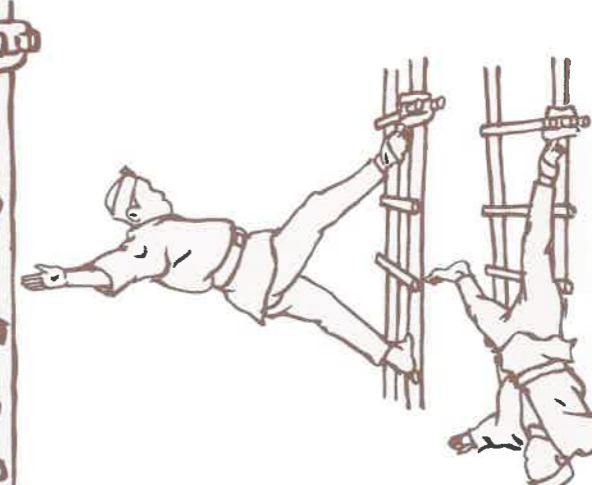
⑲ 横大
最も力を必要とする大技です。腕力、背筋、腹筋力が求められます。体操の吊り輪のような力技を披露します。



⑳ 猿の子返し
右手首をさらし環に入れ、左手を離して右手一本でぶらさがる技です。



㉑-1,2,3 鶯の谷渡り
鶯が谷を飛んでいる姿です。枝から枝へと飛び移る曲芸。はしご登りのクライマックスで、演技者の動作が最も激しい技です。



㉒ 敬礼

